

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

共創・共生。患者を中心として医師、科学者、行政、資本提供者を結び、アンメット・メディカル・ニーズに応える。

② 中長期の経営戦略

1. ポストPOC戦略

既にヒトでPOCが確認された開発候補品を導入。開発リスク軽減、開発期間短縮、開発コスト低減により成功確率を高める。

2. パイプライン構築

国内外ネットワークから膨大な化合物を抽出。SAB専門家の評価を経て導入候補品を決定し、医療ニーズの充足度を向上させる。

3. ラボレス・ファブレス戦略

研究設備・生産設備を保有せず固定費を抑制。付加価値の高い業務に専念し、定型開発業務は外注で対応。

4. ブルーオーシャン戦略

がん・血液・ウイルス感染症など難治性領域の希少疾病に注力。競合が少ない領域で適応拡大を積み重ね高成長・高収益を実現。

③ 対処すべき課題

① パイプライン充実

- ・ SyBV-1901の開発継続と新規候補品の導入を積極推進
- ・ 2025年10月に日鉄ケミカル&マテリアルとIVD事業の共同出願特許取得。超高感度測定システムの事業化推進。

② ライフサイクル・マネジメント

- ・ BCVは3治療領域で共同研究。造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症でグローバル第III相試験を推進し2026年3…
- ・ がん領域でBCVの抗腫瘍効果確認。悪性リンパ腫国際共同第I b相試験は優先領域に注力するため一時停止。
- ・ 脳神経変性疾患でNIH、タフツ大学、ペンシルベニア州立大学と相次ぎライセンス契約を締結しグローバル独占事業化…

③ グローバル展開強化

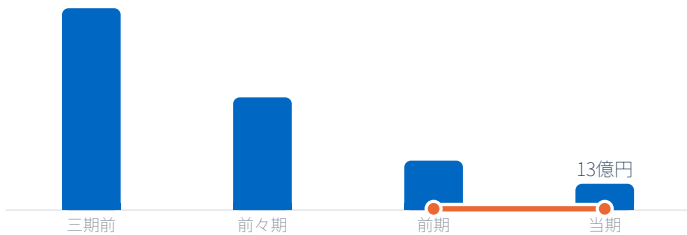
- ・ 2025年12月1日付で組織大幅再編。エドウィン・ロックが本社副社長執行役員兼グローバルR&D本部長に就任。
- ・ 日本の高齢化・後発品普及に対応し、グローバル第III相試験推進とBCV事業を中心とした展開を強化。

面接で使えるポイント

- ・ 希少疾病領域で医療ニーズに応える。ブルーオーシャン戦略により競合が少ない市場で高成長・高収益を目指す。
- ・ BCVはグローバル展開の中核。2026年3月に造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症でグローバル第III相試験患者登録開始。
- ・ 2025年12月にグローバルR&D体制を充実。タフツ大学・ペンシルベニア州立大学との相次ぐライセンス契約でdsDNAウイ…

証券コード 4582

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
13億円営業利益率
▲339.6%財務健康度
18点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 45.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,376万円
医薬品内 3位/80社平均年齢
56.6歳
医薬品内 1位/80社平均勤続
6.2年
医薬品内 50位/80社女性管理職
28.0%
医薬品内 4位/41社男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: エボ ファンド(Evo Fund)がシンバイオ製薬株式会社<

